

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道54号 可部バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局	
起終点	自：広島県広島市安佐北区可部南1丁目 至：広島県広島市安佐北区大林町				延長	9.7km	
事業概要	<p>一般国道54号は、広島市を起点に三次市を経由し松江市に至る延長約180kmの主要幹線道路である。可部バイパスは、広島市北部の一般国道54号の慢性的な交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的として計画された延長9.7kmのバイパスである。</p>						
S56年度事業化	S56年度都市計画決定 (H15年度変更)		S58年度用地着手		H2年度工事着手		
全体事業費	約640億円		事業進捗率	84%		供用済延長	6.0km
計画交通量	14,800~49,500台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 6.6		総費用 (残事業/事業全体) 85 / 831 億円 事業費 : 66/808億円 維持管理費 : 19/23億円	総便益 (残事業/事業全体) 561/1,180 億円 走行時間短縮便益 : 527/1,102億円 走行経費減少便益 : 22/ 56億円 交通事故減少便益 : 12/ 21億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C= 7.2 (交通量+10%) B/C= 6.0 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C= 6.1 (事業費+10%) B/C= 7.2 (事業費-10%)</p>						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（混雑時の旅行速度が20km/h未満である土居橋西詰交差点付近区間の旅行速度の改善が期待される） 安全で安心できるくらしの確保（広島市民病院までの所要時間短縮） <p>他15項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見	可部バイパスは、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、広島市をはじめとする国道54号改築促進広島県成同盟会から早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	広島市北部地域は、急激な宅地化が進み、人口増加による通勤・通学交通の増加や広島都心部への通過交通等により、慢性的な交通混雑や交通事故が発生している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年度末で、用地買収については96%が完了しており、現在までに起点から市道山倉線までの約6.0kmが暫定供用済み。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、残る区間についても進捗を図り、早期全線供用を目指し、事業を推進する。						
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 偏平なトンネル断面を採用し内空断面を縮小することにより、コスト縮減を図っている。 新工法の導入などによりコスト縮減に努めている。 						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変わらないため、今後とも事業継続が妥当。						
事業概要図	<p>起点 広島市安佐北区可部南1丁目 終点 広島市安佐北区大林町</p> <p>可部バイパス L=9.7km 供用中 L=6.0km</p> <p>凡例 ■ 供用中 ▨ 再評価箇所 ▩ うち供用中</p>						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。